

片押型枠部分に使用する、セパレーター支持受けアングルが進化しました！

丸セパアングル

進化する土留工法・丸セパアングル
中村土木株式会社

丸セパアングルの特長と仕様

便利

経済的

1. 丸セパアングルをコンクリート型枠面に平行に取り付ける事でセパレーターの長さが一定の寸法で型枠の建込みが出来ます。(鉄筋組立の後、セパレーターの取付が出来ます。)
2. アングル全長に75mmピッチにネジ穴が切っているためセパレーターを自由な位置に取り付けることが出来ます。
3. 鉄筋工の鉄筋の位置決めに使えます。
4. 鉄筋工、型枠工、溶接工との重複がなくなり、工期の短縮、トータルコストの削減になります。
5. 丸セパアングルの種類は、[5×30×30]、5×40×40、6×50×50、[6×65×65]等があります。一本の長さは、5.4Mです。
6. 丸セパアングルのネジ穴は、2分5厘(W5/16)、[3分(W3/8)]の二通り出来ます。
7. 丸セパアングル受けブラケット(オプション)は、FBブラケット、Lブラケット(自由にカット出来ます。)[シートパイル引き抜き用ブラケット][H鋼引き抜き用ブラケット]等、用途に合わせてお選びいただけます。

※ [] は、受注生産です。



1998年から始めて1,039,356mの実績!!

(2017年6月まで)

丸セパアングルの強度

▶ 平均許容強度（ネジ山1ヶ所当り）

アングル寸法	ネジ山寸法	平均破壊強度	平均許容強度
L-5×40×40	2分5厘 (W5/16)	16.8kN	11.7kN
L-6×50×50	2分5厘 (W5/16)	23.0kN	16.1kN
L-6×50×50	3分 (W3/8)	27.6kN	19.3kN
L-6×65×65	3分 (W3/8)	30.3kN	21.2kN



- 一般型枠で使用の2分5厘のセパレーター1本当りの平均許容強度は約13.0kNで設定されています。
- 一般型枠で使用の3分のセパレーター1本当りの平均許容強度は約20.5kNで設定されています。
- 親杭のピッチ、アングルの大きさ、セパレーターの取付け位置、コンクリートの打込み高さ等により荷重が異なるので考慮して下さい。
- 安全の為、必ず内側より、サポート等で補強を行って下さい。

丸セパアングル受けブラケット（オプション）

FBブラケット or Lブラケット	シートパイル引き抜き用ブラケット		H鋼引き抜き用ブラケット	
				
長さは自由にカット出来ます。 溶接強度は、溶接長さ等で変わります。	平均破壊強度	平均許容強度	平均破壊強度	平均許容強度
	34.9kN	24.4kN	14.1kN	9.8kN

- ※（財）日本品質保証機構中部試験センターの試験結果です。
- ※ 許容強度は破壊強度の70%で設定しています。
- ※ 工法及び、仕様は改善のため予告なく変更する事があります。
- ※ 丸セパアングルをご使用の際は、丸セパアングル取扱注意事項が当社HPのダウンロード内にございますのでよくお読みの上、正しくお使いいただきます様、宜しくお願いします。

進化する土留工法・丸セパアングル
中村土木株式会社

【本社】
 〒491-0862 愛知県一宮市緑4-8-7
 TEL (0586) 77-9111 / FAX (0586) 77-9125

【関東支店】
 〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町24-36
 TEL (044) 280-7900 / FAX (044) 280-7901

【名古屋営業所】
 〒464-0858 愛知県名古屋市中千種区千種2-12-7
 TEL (052) 731-9925

販売代理店

お問い合わせ先は

丸セパアングル

検索

クリック!

公式ホームページ

<http://nddoboku.co.jp/>